歌を聴つて見やう

観ていしてい能で



似然廣東派との 手違い 妥協を第

## 病氣により一大手違ひを生じたもので続せらる 派と安協を圖らんとする策で見られ難が孫氏が突螂この響に出てして張學良氏派と安協を圖らんとする策で見られ難が孫氏は共興諸郎の飛卵とのを察じその歌に廣景六日登』 郷が孫氏は六日夜共興時ば監討を登表した。その内容は江西の共産黨を討 共匪討伐宣言內容

は必ず中央に乞ふて下野を過去の錯誤につき叱るは遺憾に堪へぬ今は何より先に共匪を討つべ 共匪に國家を奪ばれ國家滅亡の危で漕ぎつけた全國統一の八事業を

## **廣東軍火蓋** 空軍、中央軍に 爆弾投下

一部へ船沖 一郎氏さ久勝を鍵したでは極めて悠々たるもので、配氏では一班の前者を勘絶し、暴近では

行く計画で手廻り調度品の荷造りなつてゐる。一時は今にも日本に

て軍事行動開始の幕は切って落されたのである 蔣介石氏近く 丁九師観官軍に爆弾数価を接下して飛生ったが、右は置東軍の中央軍に加へた最初の攻撃でこれを以属門六日登』総数省漳州の上空に昨日廣東軍の飛行機二葉飛来同地の警備に置ってゐる中央軍第四

野せざるな歌明したもので悪冷な一西の共興さ御南に攻め入る戯曲をは何時にても下野するがが驚くは「四萬全部の武歌を帰に就くを得は何時にても下野するがが驚くは「四萬全部の武歌を帰に就くを得いたとしむつ共興諸党成り全國統一後に「無冷飛氏は腹」の第四節徐延瑜としたの表明を護職」氏一流の自己保息策である。なめるさ共に程文三氏の基明を護職」氏一流の自己保息策である。な

等に親し み書は鑑分上室 したそうで、大戦地事へも自己の したる一書を贈つた、然し 優か感したる一書を贈つた、然し

反蔣派が 其際版になった

し九割六分張の出路累計

要では、世界恐慌と銀貨を

支管易尻は五月本にて意外にも約一路戦後の事實を知ることが出來る

獨大増税ご

勞働時間短縮

九月末の對支貿易尻

六日大藏省發表

よれば一月以

五百萬國の入超さ機繁され今日ま 北野支賀縣の前途に暗談を撰するといるがと野文智縣の前途に暗談を投するとかと斯く對支管縣がの入超を派とこの逆駆はれてゐる、 はいる はまる はいる はまる はいる はまる はいる はまる にない といる はまる 三月からのこと

張學良氏 からいへばは 一歌々の歌氏に

粉來へ飛躍し、或は「七日」の時 の時間を同時

世紀の怪跡である。このウイルキの住む地球を悠くさ一周した二十

「旬頃「北極」のか を有してあるか は潜水艦よりし 見野らつて本様

る限りの學術 科学班は出來得 ーシャン戦闘

0

ある

感激の記念會見

科學の粹を集めたノ號の設備

伯號とは來月下旬

名な科學小説家ジュール・ヴェル駅が聞きれてゐるウイルキンス大概が聞きれてゐるウイルキンス大

1 れまでがノーチラス質の準備航程 スピッツペルゲンに辿り着く、こ て凡ゆる北極接機隊の足場さなる

ヒツツマルゲン

即選遍を遂げ機

が感情を緩和

極東の經濟發展を圖る

勞農メ總領事日本駐在の目的

親によってノー





てある

見動っから自然治器係取さなつつ事業を遂行しないやうではご 記者連を機能の職職で窓に整い 今…記者連覧では唐ず「その無能 ◆・・僕は市を愛するが故に斯(遊 着船村も少し手間過ぎるヨ」さ な市長は一陸部が地蔵したのか の一項さへ選続されてあないで 項も提出しもてゐるのに表だそ て今年の鎌野市會などでも十六

復活出來るツてれ。

験合。アカシャよ、愛りの味し

**统于验油株式會社** 

低し、一度死んだら再び生きか

さに決死の気性だらう。

泂 [T]

あものに、第一に頼身をあげる が続する種類のものではない、 を施する種類のものではない、 を施する種類のものではない、 を施する種類のものではない。

を帯びるや

既後の一登に値

精像にの原理と

《廣東六日發》廣東政府は本日附を以て閻錫山氏を討蔣北路軍總司令

廣東政府が六日附

昨今の閻錫山氏

が起ケ池に居るさいふこさはごう も南京への手前面白くないので、 も南京への手前面白くないので、

くこさか態態した。その口質は

依然星ヶ浦で悠々自適し

要人達とは一切而會せず

總司令に就任疑問

支貿易意外に

團潜入

張學良氏暗殺

利五百萬圓の

沙河口公科堂に於てたの通り職艦 関東州教育研究會第二部會三十一 の関東州教育研究會第二部會三十一 の 第二部總會 州教育研究會

▲ 日瀬語晋氏(滿刻規託) 七川ス 本佐藤恕一氏(滿刻社員) 同上 本佐藤恕一氏(滿刻社員) 同上 七コス

□上 □上 □上 □上 □上 □上 □上 □上 田義太二氏〈大阪毛織會社員

蛇角

の鬼さ化せん」さあるから、ほんの鬼さ化せん」さあるから、ほん ん氏か、そこの所は刺らない。 がさんがまた下野すると云ひ出 限氏が討蔣北路車總司令に任命

上は恐らく帰住しないだらうさ



京台指加

古領でる――陽等の内臓部を取っているこの二つが腹中の前種大部分を 感ひたさへ全

に河豚原

先づ箸せぬ

やうなら、そ

場がいた時、自然を持た れぬものなる の合性――暦を さくずる―天

跡を絶つのであ 肉には、其の 河豚の確識さは?、聊かユー

が、魯山人氏は河豚のチリたい。河豚をあげ戦争に改んでゐない。河豚をあげ戦争に改んでゐないのは、戦か佛作つて魂入れず

随一に河豚た駆げてゐる。さう

展ケ脚を繋でありながら、今頭 てある。天下戦一の美味を贈る 、無味の極の有味さ呼出づけ を、無味の極の有味さ呼出づけ

の本性にあらばして、管山人氏の本性にあらばして、管山人氏

早くも西山戦組融派は衝突したく比海へ明揚げやうさしてゐる、

定員一

名増員か

三浦局長目下折衝中

反對動語をなずはず

完全なららむ

豫審判官の

▲ 江波戸鰻太郎氏(明治製菓重役)

一、公學堂兒童の學習上に於ける

金衆訓練の方音

堂における兒童美彰の

を 「東京特電七日韓」 張學良氏の容 あさ

風氏の容

職チノスの病状職者なるものがあ

植民地在勤加俸

結局二割減額か

捻出財源約七百萬圓

張學良氏容體

日

無味の中心さらいふべき 以日本稿が學校の山口部 以日本稿が學校の山口部 要にて繋行された、定 産小學が生他のモーニングスター まず、午前中の成識左の如し動會は七日午前八時よ 政治者際に側断端ろ、その他代見 観察の萬雷の如き損手數整鳴で主催本社後援の第五回 説の地球送り競技に自熟戦の後市 ダンス及び國民保護整操なども

大十米(小學生) 一着平田さな 高、山根茂子、松井俊子、田邊 高、山根茂子、松井俊子、田邊 が美子、石川喜美子、黒瀬嘉子 を、山根茂子、松井俊子、田邊 午前中の記錄

安漲る萬寳

見殺しには出來ぬ

事も準備出來次第

はした結果長本領

鮮農

わが警官隊の悲壯なる覺悟

つて開始すること

けふの寫眞 は市民運の地球送り競 一百餘名の

沙河

**兀彩寫真展** 光彩

方でなりまする。 八酒肴料值上 組合が當局に屆出ず 如きもピール四十五銭を六十銭さ 園を一圓五十錢さし更に潤着料の

繋井試錐工事應需地下水の調査鑑定

魔話六五四四番

鑛

業

所

希望が達

者が戦出してま

て役員の措置に

は佛堂のローソクが傾れ佛堂からは佛堂のローソクが傾れ物で原は、一般の一般ないたのみで消止めたが原因 爾生町の小火 六日午前 南の風 **天氣點就** 

中華婦 本御婦人様方へ!!! うな氣持のよい、御婦人 術を以ていか **大連浪速町三丁回** 水盛學 新荷蕎 服

新緑満る初夏の候 水が THEO COLO MANUEL 大連信濃町 電話七一八七番

御中食【川時下】 荒逸町一ノ瀬橋丁 金三十錢引 電話七四二九 満電陳列所 **電展第二會場** 

最適時間では、 船中の高松宮兩殿下 本日より特務艦音声で連一次を勝くつた
町に御返電を登せられた
野に御返電を登せられた
野にの電影の電報あり雨、ルフ、ピンボンその他の滅や會に
野に御歌船音声で連一次を勝くて開かれるデッキゴ

地球送り

水泳後はおはぎを御賞味

五千米(一般) 提灯競走

一着竹內一七

木原熊一一一米〇

午後七時出帆の卅六

開墾して二邦里北方の萬寶山の八尺の堰を作り、こゝから水道

尺の場を作

日銀から六十

東ぬから思

質力を以て一百名の

が躍つてある現場には日本年には日本年には関に対水するご飽く送これを関止せんさいきりたち不徹の銀いのでは、支那な民は増が出

走巾跳 一等大民 の、坂田巌吉六米C 六米〇一、渡邊貝一

常能錄二八秒

きの

要 一様父丸發電=五日 | げ山縣式部官を名譽委員長に推し | 御閲覧あらせられた 現では明日運動會を催すこと、な な能し開殿下には上 鬼では明日運動會を催すこと、な を能し開殿下には上 な能し開殿下には上 船中の運動會

御返電

例夏の空は曇れ

観衆物凄 く詰か

近市中話題の中心でなってる

各種競技に拍手歡呼鳴止まず

煙火大會開催

許可したらよい 内田芝罘粹領事の

碎けたダンス漫談 都校先職末之助氏(\*\*)が日本銀行 東京牛込属所在武蔵野銀行常務取 東京牛込属所在武蔵野銀行常務取 である 體育改善協議

が、今時ダンスホールは取締さが、今時ダンスホールは取締さが、今時ダンスホールは取締からしても良いさ思つてゐる方を許しても良いさ思つてゐる方を許しても良いさ思つてゐる。 合開催の代等につき研究協議す

令を待ち開始

上事

ちわさも限らわので一同緊急して

ギリス五勝 愈よ日本と對戦

問すべき既態さなった、五川は

規律なる農民を利用するに至り要 がちの排斥不可能さみて耐火無 がちの排斥不可能さみて耐火無 がある。までは、一般に対する表

暴力的民衆運動の指導員が入り込

殺氣漲る現場の模様

製特局賣專檀白府政度印

て示威運動

暴民が

衝突を避けるため

長春から新着と一同愁眉を開いた年後二時ごろ一盛の馬車に積んで

まりお無に失誠して四月に超人を よりお無に失誠して四月に超人を シスホールが許可され、目下上海 から十名の日本庭ダンサーが行つ な々で日を発す大連を出し扱いて な々で日を発す大連を出し扱いて 連 目下ヤマトホテルに際が行った軽額事内田 連 目下ヤマトホテルに際在して 変 目下ヤマトホテルに際を 変 目下やマトホテルに際を の 記者に解る

・ | 台は解決の客 | 本天で | 和合では溢れて居る車が使っては溢れて居る車が使って居る車が使って居る車が使っている。 外照大谷醫學博士

一人計りとかるないが五月から 十人計りとかるないが五月から 九月本までは米艦が碇泊と宛か も。國の軍港のやうに賑ひ、今 も。國の軍港のやうに賑ひ、今 も。國の軍港のやうによび、第二十人計りとかるないが五月から

我警官隊

宿泊所恢壊され

九月一日より

清

たき

堂食焼きす ちいる 毎歳速

ふく

露營覺悟

精肉、鷄肉

右之外が好みに腹で

頭痛

三七二 の南め ファーク

店理代

大連日本 東京千代田通二六番地 電 話 一二五五番地 で で 二五五番地

機等大阪六五二三一番の話車・カー六番である。 政府白檀事賣所 粒二回一 ルス慾チ果結 用服前分十三 配 金 價藥 店理代總洲滿 元 賣 發 洲 滿

六月十二日マデ

電無展驗合 電氣遊園

即 クツコ 内榮作商店 野油注品藝附長動殺 式一品藝附一ライボ 類ンラカ用 海水

め申します

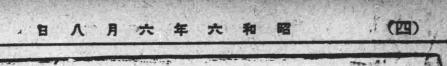
お方に切にお奬 外の藥で治らぬ + 富 價格==低廣

永高 三郎店

謝失 火 御 見

中草名御伺洩れも可有之段離有御禮申上候





てこの

HE

Ħ

統於

の原になる。故にこの地のして清算せられよ、元來 時上万病の基、胃臓の時期、胃臓 関節する慢性胃

5 胃膓 ひある危險症に著効 爽たる健康體とならしめる卓効の有る無一 を進め、栄養の吸收を住良にし、血と肉とを増し を奏し、慢性の胃腸病を快癒せしめ、胃腸の機能を1177(117) 慢性胃腸病愈々警戒を要するの し、炎症を鎖め、粘膜 痢を止め、痛みを鎖 **腸病は断乎アイフ** 一の良薬である。 の途である。 る。一個自の強壮効 の便を止め、 核、腸潰瘍の

過多症◆胃液缺乏症◆胃アトニー症◆ ◆急性胃加答見◆慢性胃加答兒◆胃酸 處加答見◆大膓加答見◆結核性下痢 張◆慢性胃弱◆急性膈加管兒◆慢 アイフを服用すべき病名 旺、疑腹がかる。原である。にる。原である。

普通アイフ 三配入 二十歳・四日分

號八

(可認物便郵種三第)

+ +

」(日曜月)

對於

らり朗かな健康の

で使明け♥

癒する獨自のこの藥効

する非日

ルなこの藥



院和五年度末思給網は一億三千四

るべき総勢に和るが現代・打破に勿職吹正し掘めて困難しあをに対ける称異性が勘然・に限り網附をなきことの特異性の問題をはあるので年限、率は勿論政能・日登り來るべき総総説の

此官恩給の

く前途を思されてゐる

特異性打破困難

陸軍恩給は漸減傾向

地がはなの参縦は実態外に超だし 地がはなの参縦は実態外に超がるるが、近時における はがはなの参縦は実態外に超ける

ではた真響局連門養 盆々

地方財政心窮乏

各府縣の五年度決算

勢刀關係加強め決定す

總統は約四百四十萬國(南國庫補總統は約四百四十萬國(南國庫補

五千萬圓の

大藏證券發行か

歳人不足の補項策

無東では明年 をはさなつきい。 をはさなった。 をできいい。 をできいい。 をできいい。 をできいい。 をできいい。 をできいい。 をできいい。 できなし我 しい。 はなった。 できれい。 をもれい。 できれい。 をもれい。 をもれ

田確にす 田確にす 田確にす 田確にす 田確にす 田確にす 田確にす 田確にす 田確にす 田でが登場で、航空巡洋艦の陵 せず航空母艦、航空巡洋艦の陵

小學教員の

加俸减俸

張群氏北平に滯在

北方の形勢や監視

空軍國策を樹立

社

說

り取締り 常局に對しこれを切望 場から民衆娛樂の健全さ、その場から民衆娛樂の健全さ、その

まで六級に別け大陸たのキロ電を樹て調査の「集(A)より

路線、電化完成は十年後と残られ ・一般式も常静線に付さなつた前記大 ・一般式も常静に集る五本の斡線中 ・中機式も常静に集る五本の斡線中 ・一般式も常静に集る五本の斡線中

英獨會商開始

全國的に

若概首相が出席第一聲をあげる事た、今月中大阪に脚西大會を開き

ハを射殺すべー

支那側が住民に命令

止め工事を始めたら

将氏の密命によつて 堰止工事に着手

快がに向い昨夜は三十八、九度 常に鐵道はれてゐたがその後漸 常に鐵道はれてゐたがその後漸 外人法廷の

張學良氏は

漸次快方

張學銘氏の談

によれば張學良氏の解練は一昨日 **養布した在支州へ管轄條側質施の** 【四京六Ⅱ**菱**】司法。は五月四日 ため、こく各地が出生に外人裁判出 判檢事增員

支那側の排目行動、

言記三、四名づいたそれん 日軍演習攻擊

機事一名衆、電南の



露支會議全權に

は『ラボカ』デ

先着參觀者五百名に見本進呈

きのふは参観者一萬を突破す

満日廣告展の盛況

拓相ご會見 七日歸京して

一年間レコードコンサートを開 が一時間レコードコンサートを開 が一時間レコードコンサートを開 が一時間レコードコンサートを開 が一時間レコードコンサートを開

公正な判斷要望 那時局に對し 唐総儀氏はアメリカ大統領フーヴァー氏に野 唐紹儀氏米大統領に

あしの、五 もの、四十

人、二百六

の食社に技師たりしことがあるさ 氏はフーザアー大統領で親突あり、際統衛氏の統轄するのに非す、支那時局に製造工稿なる判斷な下されんものに非す、支那時局に製造工稿なる判斷な下されんを貴下並に貴國民に製器するのに非す、支那時局に製造工稿なる判斷な下されんを貴下並に貴國民に関する。

は簡單

駿甲丸の審判

わ

が警官隊を

食糧攻めに

武器を用意が

萬寶山鮮農事件

吉原其他を視察

五ネーヴ發シンガボール、盤谷、西貫、マニラ、配底、袖野、 神野、 京城等の野地調査が遂げて大連、京城等の野地調査が遂げて大連、京城等の野地調査が遂げて大連、京城等の野地調査が遂げて 月間日本に満在、報告書起草の像都、大阪、長崎等各地な視察ニケ

化理合の理整庭家 整理ニー番便利ナ 次類/保存 理店=御照貨下サイ

聯盟調查委員

精力となる甘く て美味しい日本 飲んでスグ血となり

一瓶 - 圓二十錢 ◎☆圖栗店食料品店にあり 高橋博士の世界 一の新滋養料! ぬせまりよがワシ對絶に物召お…1 ………利便極至に入出お…2 夫丈雙大てく輕…5 ・適最に用送輪の具道小や類衣…6 値 段 ニ 於 テ 運 賃 ニ 於 テ 運 賃 ニ 於 テ

奉天漢邁通 株口水世間 株口水世間 一様日水世間 一様日水世間 一様日水世間 一様の記一洋 紙 店 一様の記 洋 紙 店 福盛號 號 紙 莊 北原 光明 注 行 版 版 四 四 四 四 代理 店大選市山縣通一四七 電路長人、三五三番

中国活動脈硬化。ほどによきく

兵庫縣明石市中町 30m

でて居るさも云、ねこさはあるま も知れない▲お豆に此の際十分省 も知れない▲お豆に此の際十分省 を知れない▲お豆に此の際十分省 本日鷹報を添ふ

プログラムは左の如心 草もち、土人の石、黄金の鈴、 ありて床屋、甲張段、お心やれ 娘、お猿のお額、株太郎音頭、 ジアンー、おくめ、アメンボー さ蛙

五五、二等矢橋駿州高縣(一般)一等高縣愛一一

高橋多田組、一地せ参じた陸上競技界の従形二百分)川崎西村一始された、これより先き全議より

勝の意氣物とく谷チーム族を起頭 にかざしこの時、スタンドを埋め にかざしこの時、スタンドを埋め にかざしこの時、スタンドを埋め では、一部大連アスレチック主称が ーム一部大連アスレチック主称が ームでは、二部工事主務が出 では、1000年の優勝チーム族を起頭。

新三で報天滿に野球、大連滿俱野球、 場において源地(球部)津山( 場において源地(球部)津山( が大連は山口、廃津、郷天は山村 が大連は山口、廃津、郷天は山村 が大連は山口、廃津、郷天は山村 奉天滿倶敗る 對大連滿俱野球戰

本第二回 奉天小鳥遊匍、田村四球、青木の遊匍は田村を二県に 対殺し両村一飛▲大連正田二県 市に単打、古味の一領に二進、 市に単打、古味の一領に二進、 市に単打、古味の一領に二進、 市が戦津三振、山二遊匍

きのふの大連、奉天雨滿俱戦(妖職線印)

れで勝し瀬着き、飛松にかりがれて来たさは、おと

85312 油西省田小近神松香 谷村木村島藤 本川

等 これか郷山っるや職衆は多数か様。 はせた、総報により充腐底警線器・ル では、 大変地にて騒人會を開催したが年 したので騒人の受視である 中心、サイダーなどの空根を終み おしたので騒人のを脱れて騒人の空根を終み おしたので騒人のを脱れて軽人の空根を終み おしたので騒人の食長三瀬御代氏と紋 三氏を別しているのでない。 これが歌いたいが安房に強るや 我 一定のでない。 これが歌いたいが安房に強るや 我 一定のでない。 これが歌いたが歌いた。 これが歌いた。 これがいた。 これがいれがいた。 これがいた。 これがいた。 これがいた。 これがいれがいた。 これがいた。 これがいたいれがいた。 これがいた。 これがいた。 これがいた。 これがいた。 これがいれがいいた。 これがいた。 これがいた。 これがいれがいれがいれがいいた。 これがいれがいいれがい

三氏を財政と聴念・常を加へたが 我當所は神経財調べの上支帯順へ

第二軍の野球殿は七日午後二時代

帝大第二軍を破る

法政留守軍

安局へ急行し際

東カフエーで遊居るモボ連を尻 しまいまが

東城族大

所造製輸石輪三

0

數點 打打壘振

リコア智恵者の製料が早減質入 村サンのお別の下に敷けば確存 村サンのお別の下に敷けば確存

C

時れする

大

二百哩快走 る海上 ウイルキンス大尉(八勝町)

等川野(長春)

和なな

二着鐵道工場、

小粥、坂田、二着長春、三工事(四十六秒二)山口、井

全滿排球大會

で大連署刑事が選択し二回に取り で大連署刑事が選択し二回に取り さくりの手を入れたが、見張り置 が失敗に終った事質あり、この外

二中、第二埠頭、全大連等優心

YMCAにおけるコー

李 本番外千米繼走(町內對抗) 一着久 着野東著樹、三着市議團 一着記者團、二 千六百米繼走

六

候も午後からは全、晴れ渡り出、連市民運動場にて概行線づかはれた連市民運動會は七リ午後別綴き

全滿中學庭球戰

ダブルスは大商優勝

シングルスはけふ續行する

競走へ一等のみ)、栗枯嚢

年

谷競技白熱して

観衆片唾をのむ

きのふの市民運動會

旺盛、北極頼込みの日を夢見る一同は勇躍しつ、ある(本社版権国有)

高障碍決勝 坂田、鹿野)二着長春、

文化理髪の魁

六百米混成

一般B組

A組 一大/全大連 (二 1-11) 工事 大連 (二11-1五、 質大

電気は電氣使用致します

六名を起訴

衞生軒總本店

購買組合の不正事件

高等法院教育条が取調の結果何

職 上海 では、 一本 では、 「本 では、 一本 では、 「本 では、 一本 では、 「本 では、 「本 では、 「本 では、 「本 では、 」 「本 では、 」 「本 では、 「本 では、

一年代より開始、濃馨のため試合困 アル機様し、シングルスは午後三

必勝を期して

各選手跳躍

撫順の満洲リレーカニバル

嚴重取締 麻雀賭博を なった に於て單獨公判に

射擊會成績

ホツケー軍派遣

五安局員や群衆が

八三名を袋叩き

わが警官急行數名で救ひ出す

瓦房店で不祥事件

『東京六日歌』明年ロサンセルス に飛音では経致一萬六千国か以て ケー線會は経致一萬六千国か以て

慰察會が御月 真に役立っ最優雜誌 禁門的



にユユーヨーク六日愛 太平洋権 の大佐は六日記者に對し東廻りで アメリカから大西洋の最北方航空 アメリカから大西洋の最北方航空 アメリカから大西洋の最北方航空 は七日午前一時廿五分イギリスさ してはお替有の疑惑に見舞はれ壁 の動型棚の襲素なごあり、地震に 完ご見舞はれたこさいない國民の こさ、て際情その優に差し映像の ま、戸外にሎび出し大騰ぎを滅じ が、過度に前後二回あり、ロンド 大佐新飛行 酒渍 日本各地名産

t

1:

者は歌重行政處分に附すこことない。 に卑勝りするもの対してからす、これは明かな行政違反であるこなし近く調査のうへ違反であるこなし近く調査のうへ違反 が、近く徹底能極難に離るべく秋 事連な智融してある、なほ一時流 事連な智融してある、なほ一時流 で市内谷所の苦突場が順番俱楽部 れより北線洲及シャリア經由日本に野遊せんさする大飛行をも研究」 北寧鐵五十年

界各國

酒

類

食

00

護士開

業

果京風菓子謹製

大電話』 大電話』 大電話』 大電報された機関車は北平の博 が確に保存しが大記念する由、 本 大電話』 九日は北京戦路が敷設されて滿五

刑事々件並に海事幹判前とうう。一般民、商、今般左記に辯護士事務所を開設致し一般民、商、

々件並に海事審判補佐の高囑に應じ可申候 大連市薩摩町四十五番地 (遠鏡本献宴) 電話六大大番

オリエンラルで 値反・最高の を表

チリ紙は福盛號 電話六七三八五 電話五六八五塔

京桐箪笥 B うなぎ丼 五十

珍

珍品

生《永玉子 頭痛 ーシン 電話代表五一七九番 1000年で

品質桝目確實 多少に拘らず配達致升

【ロンドン七日發】イギリス全十

英全土に激震

連鎖街

問屋米 大

電話三 00 屋

電景語氏御立會の上層正なる抽籤を行び有貨籤帳に付第二十九號 甲乙丙種共各組共通

第十回購買會第七次當籤廣告

流鐵直營 **旅順ヤマトホテル** 

黄金臺出張所六月十日より 謹 開業

何得の特殊作用を以て容易 全短時日に應用の目的を達 る確實の効力を有せり:

なり出来かる殴り何希察際に努力を設備に誘敗した職後は調一確究を有四項の職権に對した。目は終始沈 路上に他殺の

は城事及び小池整神た随へ現場にき死情があるさ五日午前安東署にき死情があるさ五日午前安東署に 聯合相撲成績

東職師は撒煙類の軟骸を飾さして数 人多數原性してゐる關係上口論或 
東職師は撒煙類の軟骸を飾すべく 
「中前入時四十分瀬ノ口副會誠 
るまいかさ常局では関係者な本器 
「は新田書配長を常同してホテルに 
「控数して北銀き取戦中である 
「は新田書配長を常同してホテルに 
「控数して北銀き取戦中である 
「なれてき膝つた 安東會議所から

松崎、肥後、末水、椒走多田、福元、永

足立、福元、中村

廿名の馬賊 米瑞典式榴走 松崎、末永、野中、田中、森崎、磯遠、

六日午前三時代ごろ安慰総原原城 質目もある石を轉がし総路上に載 せた後夏に四貫目の石を持ち速ん せた後夏に四貫目の石を持ち速ん

來る十一日歸奉

本井上同警楽主任 同上 本瀬藤川事務主任 同上 本がハリシ氏(駐泰勞展通网代表) 五日火奉 五日火奉 五日火奉 館料務所長 五日大連よ

體協選手出發

加赴無する選手は左の如くである 加赴無する選手は左の如くである 走 松崎、宋永、永島

軍に見東機敗一時四十分閉野 五月中の

海左の如くである

塚本長官通過

里要問題對策を

塚本長官に陳情

鮮人の列車妨害

学校、機関庫のサイレン及 校では生徒に時に闘す 取りはやめて置ひたい 対照に日本の威信を鑑けてゐるが 常に日本の威信を鑑けてゐるが やないか、 繋いものさしての機能 籠球戦で 撫順署慘敗

高女軍に 

練武場改築

長廣松平氏 ではお瀬に脚を抱き締められた 鬼はお瀬に脚を抱き締められた

に新まる山岸洋行の に新まる山岸洋行の に一方のやる事が合理。 はなが乗る等した底

髪髯へ戻るんだ」

回えたらうな。二多度製きにもては を関えて居う感覚されるのはお天道されの配がでいた。 一大砂筋の兜のを確って好を知られ またらうな。二多度製きにもて移 の木へ引っかけるなア天砂の飛だ へ着けるんだ。陽が出れえうちに でを速ってだりあけがたまでに 島 マタ介は経動服徒です。

決してお父ツつアンのそば離れな

地香一十二町置區布蘇市京東 房藥綱惲邊渡 麒 舖本

**両手で弱く兜の脚を抱くんで** 

新刊级介

招魂祭

不病發生

一ノ二六加島山(四五) 東かれて行け。婆婆ッてさこも萬 鬼かれて行け。婆婆ッてさこも萬 鬼かれて行け。婆婆ッてさこも萬

ひ出して見ろ。は、は、は!」 一間ほどの網で飛行機を船につ なぎさめるさ、マタ介は麻手の塵 力を加へるんです。 「あたし、有難う」

「怖かつたらう……なに大丈大。 野郎らアもっグウの音も出めえ。 野郎のアもっグウの音も出めえ。 なに大丈大。

でれてようございますかい?」

「坑でお父ツつアル脈いてたの。」 あたしそッさお父ツつアんに願れ

放选 外杉並町馬橋五四七柳樗 一次月號) 傾三十五段、 六月八日白午後七時 連りの44

数ケ峰(南)〇 ×初 島(南) 数に就て出場力士懸勢宴を聖り萬 図に就て出場力士懸勢宴を聖り萬 木山、軍)× 〇山乃中(市) 勇(市)× 〇州田川)軍) 事務所長は七日午後六時から多門事務所長は七日午後六時から多門 一際原庭が部にては來る十四日鐵 庭球メムバ 鐵嶺遠征軍の

(四)

營業税實施の 影響重大 午後五時十五分第十一急行列車に 塚本関東長官は管内初巡視中六日 徹へ遠征する事さなったがメンバ 長官通過北行

構構内の洋車夫

齊に同盟罷業

洋車使用料引下を拒まれて

で現場に向い目下調査中であるさ

員鑑者は出品さんで熱心に代鑑4

に至らないだらうさ を対、本月中には到底解決を見る 去る四月二十七日常地振鹿大街雨 功勞巡查表彰

開原普通學校新校舎は既報の通り

新校にて授業開始

名に對し今回關東歐より資狀並にの功勢者消漫一郎巡査以下二十七 **陳販全部を射殺乃至逮捕せる事代替業権盛和事張振遠方を襲ひたる** 支那芝居無料公開

五日午後四時戦率沖縄路線橋上の通路から小火あり職長が登見して 順に常し出めたが原因は旅人が黄 域マッチを擦捨たのが姿粉袋につ

記念日

宣傳方法等決定す

町のニユース

跨線橋上の火事

八日より向ふ一週間に取り同社政のためまて記載中であつたが愈々 し定めし盛城を呈するであらう

**亂石山の鮮支人** 

兜は快よい高笑ひあげて、悪鷲

「おい。ありったけスピード

舳か洗ふ白い沫――飛行機は細 第1年の開闢に抱きすがつた手に外をいすすり泣きの底から、お かきの底から、お

知属雑司ヶ谷町八七 第六號) 慣四十後、 携の常備薬でも すべての海家庭に缺くべからざる座右必 定復 二十銭 三十銭 胸咽喉の痛 肩腰のコリ うち あります 節乳ののコ 神にリウマチス

IJ



が、おいらそん

教のの手がのびようさは! 兜の勢力なら大したもんだわ。 限での浮浪少年の頃だわ。風見床 たしの困つてるのぐらる子分の譲 こんな毛布賞様らに着せさくの ン、ドツ、ドッ!

にうづくまつてゐるお薬の扉から 蛇は彫の間にたくれまつて居る

きア息の根のれる奴等だ。せめてはが他れる。どうせあけがたまで

できて着てな。 あけがたの海は窓

なえ」





一人だり。いっ葉味だわこの鑑かぶ で鬼ぼうたしのあさを追つて来た あたしなあんなめに腹さんざ會

終へるさ、今度は鬼はまた揺闘を味を小領味よく珠数つなぎに縛へ マタ介が指太寒川鉢巻の悪葉一

は、2 後来この方面の者書に近まれなかつたが幸にもて本。にまって数へ53、歳多大であらら(関一国二十錢、東京市京橋 (土岐蕃麿 啄木の歌から、南部 (土岐蕃彦) 「中本魂公月號」(関三十二 「東京市り福島」

疲れを癒し

痛みを消し

接戦に次ぐ接戦で、選手は勿論、観衆も手に汗を握る六大學のリーグ野球戦は、終日の運動と満りを握る六大學のリーグ野球戦は、終日の運動と満たってが、まず、ないます『妙布』の強能は、その特殊な作用にでざいます『妙布』の強能は、その特殊な作用にでざいます『妙布』の強能は、その特殊な作用にでが、まず、ないまな、というの循環や良くして新東代調を設定ならしめ、疲等に依つて生する體内の運動を観活にするので、運動を利し、疾れを癒して大線・というので、運動を対し、疾れを癒して大線・というので、運動を対し、疾れを癒して大線・というので、運動を対し、疾れを癒して大線・というので、運動を対し、疾れを癒して大線・というので、運動を対し、疾れを癒して、大線・というので、運動を対し、疾れを癒して、大線・というので、運動を対し、疾れを癒して、大線・というので、運動を対し、疾れを変して、ない。 コリを和らぐ妙布の偉効

かいたいでは、 大きない。 大きない。 大きない。 大きなが、 、 大きなが、 、 大きなが、 、 大きなが、 大きなが、 、 大きなが、 、 、 大きなが、 、 、 、

原

でいふのがお要點である。 獅叉雨 ため瞬時近適常なる 盛へ 保合所 建 でいふのがお要點である。 獅叉雨 は

質にめまぐるもい運命の転送です。 この危機へこんな風にして兜の F

へ 郷しみに待ってる

(146)